



2003～2004年度

THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA—NORTH

例会日：毎週水曜日 12:30～13:30

例会場：越谷市千間台東1-1-6

クオレ千間台 2F

TEL 048 (975) 9898

FAX 048 (977) 3741

創立：1976年5月11日

会 長：小林 操

副 会 長：今野 忠雄

幹 事：太田 靖彦

会報委員長：石川 輝次



Lend a Hand

第 1339 回例会記録 No.02

平成 15 年 7 月 9 日

司会： 若海兵馬

編集： 長谷川真也

会次第

1. 点鐘
2. ローターソング 我等の生業
3. 会長挨拶
4. 幹事報告
5. 外部卓話

横井英明様

松尾恭子様

次回例会予告

平成 15 年 7 月 23 日

会員卓話

会長挨拶



今日は二回目の例会、先週は非常に緊張しました。ですから挨拶は原稿を棒読みでしたので、皆様方のご理解を得られたか、ちょっと心配です。今日は、自己紹介を述べさせていただきます。

私は、昭和 23 年 11 月 5 日東京の世田谷で生まれました。上下女の三人兄弟の真中です。父は私が小学校位まで、当時の進駐軍の警備員をしていました。母は家で色々な内職をやっていたように記憶しています。当時の世田谷は、今の

この辺みたいに空き地や畑がたくさんあり、遊びには事欠かないほど、いわゆる餓鬼の遊びはほとんどした記憶がありません。寺の墓でかくれんぼをしたり、城山という世田谷城址公園で、洞窟の探検をしたり、空き地がたくさんありましたので、

東京農業大学の近くの馬事公園近くで野球をしたのをよく覚えています。

小学校一年は、世田谷の上町にある桜小学校に入学しました。この学校は父も卒業しており、世田谷では相当古い学校のように思います。皆さんに分かってもらうためには、世田谷ぼろ市道り横と言うとお分かりの方は分かると思います。

私の自己紹介で言わずを得ない事があると思います。それは自分の障害のいわれかもしれません。

ロータリークラブでは多分過去二回位お話をした記憶があります。それは私が小学校一年生の時に当時あまり知られてなかった小児麻痺に罹ったことです。その後遺症が今もこの通り私を煩わせています。小児麻痺になり、現在があるということは、またの挨拶の時にでもお話したいと思っております。ということで二年生からは都立光明養護学校に転校し六年卒業までいました。

中学は、回りの進めもあり地元の桜木中学校に入学しました。高校は都立駒場高校、優秀な女性がたくさんいた学校で、卒業生には、吉永さゆり、加藤登紀子等がいます。その後浪人して結局、国学院大学に入ったわけですが、高校時代から卓球をやってまして、一応主将でしたから、大学でもと思い体育連合会の

卓球部に入りました。当時国学院大学の卓球部は関東学連二部でしたから、私など一般部員でいつも玉拾いばかりでしたが、理解のある先輩が私に合う役職を与えてくれました。それは主務、マネージャーでした。一年生後半には見習い、二年生の時には正式に、主務に就任しました。マネージャーを二年生、三年生と二年連続やったわけです。

このかん卓球部は関東学連一部になり、全国の大会に遠征したことを思い出します。現在の仕事はおそらくこのマネージャーの経験から来たことは確信できます。

確か私が大学四年の時、今の家内が一年生として、卓球部に入ってきたわけですが、話を進めます。同時に四年の時、将来の進路と言うことで色々悩んでいる時に、康國さんからの話で、税理士への近道という話をもらいました。当時康國さんも大学院の学生で司法試験の勉強をしていたという共通性から、私も大学院で税理士を取ろうと決断し、国士舘大学大学院、駒沢大学大学院を修了し、税理士になった訳です。ここでいう事では無いかもしれませんが、青木康國さんとは、志しは近いものがありますが、私は実務家タイプであり勉強が好きではありません。弁護士の勉強に比べると税理士の勉強は、糊と鉄で済むくらい楽で足元にも及びません。

めでたく税理士登録し開業したのが、昭和51年です。今年で27年目、所員9名、年商何千万円、まあまあかな～って感じのこの頃です。

現在家族は嫁に行った娘の外、母と家

内、息子二人の五人です。どうぞ香取神社を宜しくお願い申し上げます。これで本日の卓話とさせていただきます。ありがとうございました。

幹事報告



青木康國国会議員より出席免除申請があり、当クラブ定款第 8 条第 3 節の規定により理事会において、承認されました。

外部卓話



2003 - 2004 世界社会奉仕委員長 y 横井英明様(庄和 RC)

35 年前に発足し、二つの国のロータリアンが協力して、援助を必要とする人達を助ける奉仕活動です。

奉仕を受ける人も与える人も、地球の裏側に他人の幸福を願っている人が居ることを学ぶのは、これまで知らなかった世界への窓を開くに違いありません。



国際日本語普及協会 松尾恭子様

三芳町町から参りました松尾と申します。貴重なお時間を戴きましてありがとうございます。私はアフガニスタンの女性の自立を支援する会のメンバーですが、昨年の地区大会では、地雷撤去のキャンペーンのお手伝いをさせていただきました。協力する機会をいただいたことを感謝しております。私とアフガニスタンの関わりをお伝えすることでアフガニスタンのことをお伝えできたらと思います。私は社団法人・国際日本語普及協会という機関で外国人に対する日本語教育の仕事をしています。仕事と平行してボランティアでも自分の地域の外国人に日本語を教えています。2 年前の 3 月に埼玉県のアフガニスタン在住の方に日本語を教えることになりました。9・11 テロの起きる半年前で、パキスタンの難民キャンプから来たばかりの女性に一からのスタートで日本語を教え始めましたが、大切な事はまずは心を開いてもらうことでした。そこのお宅のアフガン出身のお兄さん、ユノスさんが自分の同国人の支援をしていました。アフガニスタンは形も心臓の形をしていて、アジアの真ん中にある、だから Heart of Asia アジアの心臓・・・「その心臓が戦いで血を流し続

けている、だからアジア全体が痛いでしょう、ごめんなさい。」そう言いました。私たちはそのとき、アフガンの内戦のこともはじめて知りました。日本語支援を手伝う仲間と富に共に私たちは日本語以外にもなにかできないかと模索していました。そのお宅で美しい刺繍を見つけました。それはふるさとの人たちが異国の日本に住む家族を思って1針1針手で刺した繊細な刺繍でした。これを日本に紹介したいと思い、アフガンの伝統を伝えることも含めて刺繍を紹介し購入していただく活動を始めました。輸送方法も確実ではなくて電話も通じないところとの交渉は困難なものがあります。小さいグループなのですが、色々なボランティアの団体の集まりなどで、紹介する機会を持ちました。その中で理解をしていただきながら、でも準備で時間をかけ、労力を使っても金額としてはさほど大きくない場合もあります。そんなときに、なにも活動をしないで、お金だけ寄付させてもらったほうがよいのではと逡巡します。でもやはり、活動を通して日本の方々に、アフガニスタン知っていただくことに意味があると思っておすのです。実際にカブールに住む人達に作ってもらいそのお仕事に倒して対して、活動していることに意味があると思っています。

アフガンは今報道も少なくなり一見安定に向かっているようですが、実際はまだまだ大変なようです。今年の1月アフガンに1時帰国した方と電話で話したとき、電話の向こうで声は寒さのために震えていました。全く暖房がないということでした。昨年、200万人の難民が帰還したそ

うですが大変な生活を余儀なくされています。最後に地雷キャンペーンのことを紹介します。去年8月に埼玉新聞の記者さんがカブール近郊で「DDG」というNGOが地雷撤去をしている現場を取材しその記事が掲載されました。それをロータリーWACの近藤さんがご覧になり、11月の地雷撤去のキャンペーンに結びつけました。その場にはユノスさのご一家と私が最初に日本語を教えた女性もきました。普段は本当に自分を表現しないその女性が大きな声と笑顔で「オネガイシマース」と言い続けました。活動して下さる皆様のお姿に接して、それがどれほど大きな励みになったことかと思えます。このあと大切な募金は再びDDGのもとに届けられました。このときDDGの方がいままでたくさんの国のから取材が来たけれど支援の結果を持って戻ってきた例は初めてだと語ったそうです。こうやって色々な方とつながりが大きくなって、さらに協力の輪が広がっていくのを感じます。微力ですがこんごとも協力をさせていただけることを願っております。



副委員長 小林光則

今年の地区の目標で地雷撤去をしていくことになっていますがこれから皆様にご協力いただいでやっていきたいと思ひます。地区とクラブとのパイプやくになりまして随時報告していきたくと思ひます。

出席報告

会員数51名

出席免除4名

出席者31名

欠席者20名

出席率 66%

今日は何の日

駅弁記念日、ぼん送り火

日蓮、立正安国論を北条時頼に献進
(1260)

アメリカの首都ワシントンに決まる
(1790)

東北本線の宇都宮駅で日本初の駅

弁が発売。にぎりめし2個と沢庵(たくわん)を竹の皮に包んだもので、値段は5銭(1885)

日英通商航海条約、締結(1894)
大阪で第一回模型飛行機大会開催(1911)

世界初の核実験、アメリカ、ニューメキシコにて行われる(1938)

伊東絹子がミス・ユニバース3位。「八頭身」が流行語に(1953)

高見山大五郎、名古屋場所で外国人として初優勝(1972)

六価クロム汚染、問題化(1975)
千代の富士と北勝海、名古屋場所で同部屋横綱決戦(1989)

誕生: サルト(画家 1486) コロー(画家 1796) アムンゼン(探検家 1872)

加茂さくら(女優 1937) 桂三枝(落語家) 松本隆(作詞家 1949)

篠塚和典(元プロ野球選手 1957)
古手川祐子(女優 1959)

CHAKA(1960) フィビー・ケイツ(女優 1963) 袴田吉彦(俳優 1973)

誕生花: ストック (Stock) 花言葉: 永遠の美